

電気工事一筋45年 アイデア社長と高い技術力 「すべては安全・安心のために」

已作電設

已作電設(綾瀬市深谷中、已作勝則社長、0467-77-9328)は、昭和44年に個人事業にて創業し、昭和54年12月に法人化、電気工事・電気通信工事を専業とし今年で45年を迎える。

創業当初請け負った北陸地方での電気ケーブル工事中、ケーブルに積もった雪を見て「もっといい方法はないだろうか?」「もっと地域の方々に安全なものをつくりたい」と思ったことをきっかけに、已作社長の柔軟なアイデアから、安全・安心をモットーとした工法・製品を開発し特許取得に至った。(平成18年4月ケーブル架設工法、平成19年6月ケーブル延線用治具、平成20年8月ケーブル架設用エクステンドコイル)

中でも、ケーブル架設用エクステンドコイルは、「エクステンドハンガー」として製品化され、高い評価を得ている。同製品は、アルミ亜鉛メッキ銅線に特殊な合成樹脂をコーティングしているため、耐候性・耐食性に優れ風速50m/Sの風圧に対しても安全にケーブル類を保護する。また、火災等による断線・垂れ下がりを防ぎ、コーティングされている合成樹脂は燃焼してもダイオキシンの発



社長が開発した特許商品「エクステンドハンガー」

きる利便性も評価されている。

「すべては安心・安全を第一に考え、社員一丸となって取組んできたことが我が社の誇りであり、これからも、もっと良い工法・製品を開発していきたい」と已作社長は語る。



已作勝則社長(右から2人目)と社長を支える従業員の皆さん